

この度はJTC工具を御買上頂きまして、誠に有難うございます。  
本製品をより安全・適切にお使いいただくために この取扱い説明書をお読みください。  
取扱い説明及び表示の注意事項や使用方法は十分に理解した上で正しくお使い下さい。  
この取扱説明書はお手元に大切に保管ください。

## 危険

設置場所、作業場所の注意：エンジンクレーンが転倒したり、地面の沈み込みの恐れがある軟弱な地面、凹凸の地面、傾斜のある地面等には設置しないでください。転倒や落下等で重傷、死亡事故の原因となります。必ず固く平らな場所で行ってください。

作業者の注意：作業される方は必ず御使用前に取扱い説明書を熟知し本製品の使用方法をよく理解してください。さらに各部の操作に慣れ、圧力の調整作業をゆっくりと慎重に行える方が作業してください。不慣れな方は重傷、死亡の事故の原因となります。本体の分解、修理、改造はしないでください。

## 警告

- ・本製品は、車両からエンジンを脱着整備作業することを目的として作られています。
- ・本来の用途以外で使用すると、損傷・破損、ケガをする恐れや事故の原因となります。
- ・誤った使用方法により生じた、商品破損、人体への傷害、物品への損害、その他のいかなる損害に対しても、当社では一切の保証、並びに責務を負いかねますので、ご了承ください。
- ・使用前や定期的に、損傷・破損、作動不良、異音、油圧オイルの漏れなどの異常がないか点検してください。
- ・使用中、損傷、破損、作動不良、異音、オイル漏れなどがある場合は、ただちに使用を中止してください。
- ・異常がある場合、お買い求めの販売店までお問い合わせください。
- ・作業中、作業手順や周辺の状態への安全確認を怠らないようにし、事故に注意してください。
- ・使用者以外、使用場所や保管場所に近づけないでください。
- ・特に子供や幼児は、危険な行動をとることがあるので、絶対に近づけないでください。
- ・直射日光、暖房器具や温度上昇する機器の側で使用しないでください。
- ・本製品は、屋内専用です。屋外での使用は止めてください。
- ・屋外での使用は、本体故障、損傷・破損、ケガをする恐れや事故の原因となります。
- ・能力を超える使用はしないでください。破損及びケガをする恐れや事故の原因となります。
- ・設置場所の作業環境温度は0℃～40℃以内です。  
0℃以下はオイルが硬くなり作動不良の原因となります。
- ・設置場所はチリやホコリが多くある場所に設置しないでください。シリンダーやポンプにゴミが付着するとオイル漏れの原因となります。
- ・水気のある場所、水が掛かるような場所に設置しないでください。
- ・過負荷を掛けないでください。能力以上の過重を掛けると故障や事故に繋がる恐れがあります。
- ・本製品使用中にエンジンを長時間吊り下げないでください。故障や事故に繋がる恐れがあります。  
脱着を終えたら速やかにエンジンスタンド等に固定してください。

## ⚠ 危険

- ・耐荷重以上の物を吊り上げないでください。
- ・ブームを伸ばして使用する場合は、耐荷重は各位置により、異なりますので、十分ご注意ください。
- ・作業中は作業者以外の方は近づかないでください。伸縮ブームの下には絶対に入らないでください。
- ・油圧のリリースバルブの急な操作は、急激な落下により事故、怪我の原因になりますので必ずゆっくりと少しずつ回して下さい。
- ・上昇しない時、自然降下する時は使用を止めてオイル量の確認、オイル漏れの確認してください。リリースバルブが閉まっているか確認してください。シリンダーのエア抜きをしてください。 ※直らない場合はご購入頂いた販売店様へご連絡ください。

折り畳み状態 JTC1009C 1ton

使用時アーム全長	耐荷重
A : 1060mm	耐荷重 1000kg
B : 1150mm	耐荷重 750kg
C : 1240mm	耐荷重 500kg
D : 1330mm	耐荷重 250kg

※折りたたみ状態で保管する場合  
 ⚠ キャスターの向きにご注意ください。  
 キャスターが伸縮ブーム側に向いていると  
 安定が悪く転倒する場合があります。

折り畳み状態 JTC2001C 2ton

使用時アーム全長	耐荷重
A : 945mm	耐荷重 2000kg
B : 1113mm	耐荷重 1500kg
C : 1285mm	耐荷重 1000kg
D : 1455mm	耐荷重 500kg

⚠ **注意**

シリンダーをいっぱいまで  
 上げると赤色のストップラインが  
 出てきます。  
 絶対にこのストップラインより上に  
 シリンダーを上昇させないでください。

## 使用方法

- ・凹凸、傾斜のない、平らな場所に設置して下さい。
- ・可動脚の固定ピンを抜き可動脚をゆっくりと降ろします。  
 設置用固定穴に固定ピンを差込抜け防止の割リピンを差込みます。(写真1)  
 左右の可動脚を設置してガタや傾きが無い事を確認してください。
- ・シリンダーのエア抜きを行ってください。(別紙参照)
- ・ハンドルでリリースバルブを右に回し、ポンプをおしてアームを水平位置まで上げて下さい。
- ・ブームを吊るエンジンの重量に合わせて伸ばして位置を決めて下さい。  
**※対過重は余裕がある状態で御使用ください。耐過重以上のエンジンを吊るとシリンダーの破損、  
 転倒等事故の原因となりますので十分確認して注意してください。**
- ・別売のエンジンバランサー (JTC2500C・JTC22001C) 等を使用してエンジンのバランスを調整して  
 吊り上げて下さい。
- ・エンジンを吊り上げたら、すみやかにエンジンスタンド等に固定して下さい。  
**※長時間吊り下げでの放置、吊り下げた状態での分解作業は絶対に行わないでください。**
- ・リリースバルブを左に回すと油圧が解除され、ブームが下がります。

# シリンダーのエア抜きの方法 及びオイル量に付きまして



- ・初めて使用する時、又はシリンダーが正常に作動しない時はエア抜きの行ってください。
- ・エア抜きの確実に行わないと使用中にクレーンが降下する可能性があります危険です。

## 油圧ポンプのエア抜きの方法

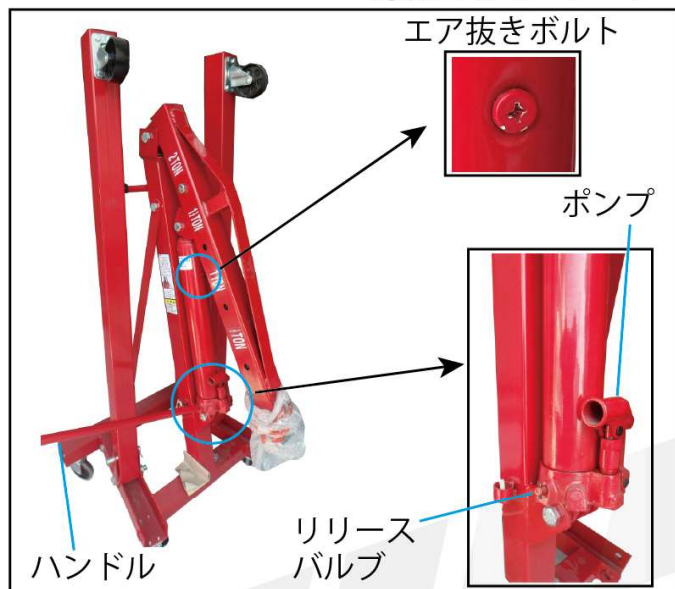


写真 2

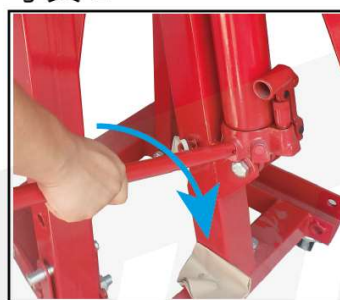


写真 3



1. シリンダーを下降させた状態でエア抜きボルトを外してください。(写真 1)  
ポンプのリリースバルブをハンドルを使用して右に回して締め込みます。(写真 2)  
ポンプ部にハンドルを差込みポンプを上下してシリンダーを一杯まで上昇させます。(写真 3)  
リリースバルブをゆっくりと緩めて一杯まで下降させてエアを排出してください。  
この作業を 2～3 回繰り返しシリンダー内のエア抜きをして下さい。

**注意：**この時にエアとオイルが一緒に出る場合があります。

ウエスでボルト穴を覆いながら作業してください。

エア抜きの確実に行わないと使用中にクレーンが降下する可能性があります。

※エアが抜けない時はオイル量を確認してください。

正常に作動しないときはお買い求めの販売店又は弊社へお問い合わせください。

## メンテナンス

定期的に各部のネジの増し締めしてください。キャスター、伸縮ブームリンク部分の可動部分には注油してください。

※ 1年に1回、油圧ポンプのオイル交換をしてください。

使用オイル：作動油 ISO VG32

オイル量の点検：シリンダーを下降させた状態で垂直に立てエア抜きボルト穴の下端部まである事を確認してください。

1. 本体よりシリンダーを取り外します。

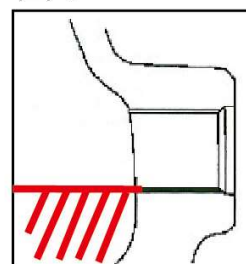
リリースバルブを反時計回りに回します。

2. エア抜きボルトを取外して、廃油受け等に排出します。

3. 新しいオイルをエア抜きボルトの穴より補充します。

エア抜きボルトを締めてエア抜き作業をしてください。

図 1



オイルが  
穴の下端部  
まである事  
を確認

輸入発売元

**JTC Auto Tools** 株式会社

E" M : info@jtcautoools.co.jp

FAX : 0834-22-7600